



町長回誌

No.240

町長日誌の第240号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

10月12日 (木曜日)

農地の基盤整備事業を進める全国組織を「全国土地改良連合会」(通称土地連)と言います。会長は二階俊博元幹事長です。毎年全国各地で大会を行うのですが今年は福井県で行われ、オホーツク管内から役員など14名、全道から260名全国から4000名が参加するビックな大会です。あらゆる大会の中でこれだけ人員を集める組織は他にないと思います。私も役員をしていることから毎年参加しています。さて皆さんはコメのコシヒカリが福井県で生まれたことをご存知でしょうか？新潟ではないのです。コシヒカリの「コシ」は「越の国(こしのくに)」から命名されたもので「ヒカリ」は「光り輝く稲」となることを願ったものとのことです。その福井では北海道並みの基盤整備が進められ一区画2haの水田が広がっていました。その水田では9月末までに稲刈りが終わり切り株から新しい稲が30cm位に伸びて青々としています。その水田に稲をすきこむロータリーハローを付けたトラクターが作業しています。ただ稲を緑肥としてすき込んでいるのかと思いきや種を撒いているというのです。地元の方に聞いてみると「田の水が引いた頃を見計らって麦を撒いているのです。麦は春に収穫できるので、その後に又田植えを行う二毛作が福井でもできるようになった。」とのことです。二毛作はもっと南の地域のことかと思っていたのですが緑肥もすき込めるので地力も向上して良いとのことです。温暖化も影響しているのでしょうか品種や技術の改良は凄いなと思った大会でした。

10月17日 (火曜日)

北海道町村会から急遽依頼があり鈴木知事と教育長が文科省に緊急要請を行うので同行してほしいとのことで、山形県飯豊町のバイオマス視察予定を変更して東京に向かいました。この要請は異常に暑かった今年の夏を受け小中学校への普及率が16%と低いエアコンを学校に整備するための予算要望です。今月中に政府が大型補正予算を組む予定なので、その中に北海道のエアコン整備予算を含めていただきたいと言うことです。盛山文科相は「予算に組み込む」と力強く答えていただきましたが肝心のエアコンの製造・工事が来年の夏に間に合うのかが大きな課題となっています。なお、本町も来年の夏までの整備に向けて準備を進めているところで、始める考えです。

10月21日 (土曜日)

朝7時30分、副町長から「防災訓練の連絡です。8時までには役場をお願いします。」との電話があり4年ぶりに町民皆様の参加を頂いた「興部町防災訓練」が始まりました。町民の皆様には自治会単位で事前に参加の確認をしていただき、消防団の皆様には「水防訓練」として土嚢積み職員や自衛隊員の皆さんと共に体験して頂きました。会場を興部高校としたことから高校生7人にもお手伝いを頂き宇津集落センターに行ってもらい身体に着けて高齢者の体験をする器具を装着しバスに乗って避難をするという体験をしてもらいました。自衛隊の皆様には前日から町に入っただき炊き出し(カレーライス)をしていただきました。全員で網走気象台の予報官から気象予報についての講話を聞いた後参加者約230名で食べるカレーライスは本当に美味しかったですね！朝は昨日に続いて雨模様だったのでお陰様で次第に回復し作業などに影響のない天候でありました。今年はあまり大きな災害もないまま推移していますが昨年12月の大雪による停電のようなことがいつ起こるとも限りません。町も会社も皆さん個人も「備えあれば憂いなし」で参りましょう。改めてご参加いただきました皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

本日、「興部ドゥリーム・コールさん」が35周年を迎えられ記念コンサートを総合センターで開催されます。ママさんコーラスとして興部町のPRに務めて頂く一方、町の音楽や文化の底上げに言い尽くせないご尽力を頂きました。本当におめでとうございました。これからもなお一層のご活躍を願っています。

「文化の秋」大いに楽しみましょう！では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。